

Event 森づくりイベント情報

7月 7月・8月に4回開催
サマーアドベンチャーキャンプ
開催場所：ふるさと森林公園
TEL.0852-66-2500

22日(日)
手作り黒板スギ板工作
開催場所：森のホテルもりのす
TEL.0854-76-3119

22日(日)
北側ビオトープ池でザリガニ釣り！
開催場所：島根県立宍道湖自然館ゴビウス
TEL.0853-63-7100

8月 26日(日)
親子で作ろう木工教室「竹細工・木工作」
開催場所：三瓶自然館サヒメル
TEL.0854-86-0500

26日(日)
宍道湖でテナガエビとり体験
開催場所：島根県立宍道湖自然館ゴビウス
TEL.0853-63-7100

9月 23日(日)
森の健康診断&スギ染め・和紙づくり
開催場所：森のホテルもりのす
TEL.0854-76-3119

読者プレゼント
present

ハガキに掲載しているアンケートに答えていただいた方の中から抽選で10名様に

非売品
「みーもくんグッズ」

- クリアファイル×2種類
- シール×2種類
- しまねの森づくりすごろく

をプレゼント。
お名前、住所を必ずご記入のうえお送り下さい。
※9月15日消印有効



水と緑の森づくり情報誌
みーも通信 夏 2012

発行 島根県農林水産部林業課 水と緑の森づくりグループ
〒690-8501 島根県松江市殿町1番地
TEL.0852-22-6003 FAX.0852-26-2144
E-mail mizumori@pref.shimane.jp

http://www.pref.shimane.jp/ringo/mizumori/

※この誌の個人購入情報は、他誌及び受託店をもちに「水と緑の森づくり」の事務局（内容設計）以外には使用せず、適正な管理をお願いします。

本誌は「環境にやさしい紙」を使用しています。

水と緑の森づくり情報誌

みーも通信



特集
special feature

しまねの森の

水辺で

過ごす

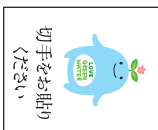
涼時間

しまねの森トピックス
しまねの森のサポーター
INFORMATION
森のイベント情報



Post card

6908501



島根県松江市殿町1番地
島根県農林水産部林業課
水と緑の森づくり情報誌
「みーも通信」発行

フリガナ _____ □男 □女
お名前 _____ 年齢 _____

〒 _____

住所 _____

電話 (_____) _____

メールアドレス _____

アンケート

1. 情報誌「みーも通信」はどこで入手されましたか？

- ☐ 市町村役場 ☐ 公共施設 ☐ 自治会回覧 ☐ 図書館 ☐ 公民館
☐ スーパー ☐ 銀行 ☐ 駅 ☐ JA ☐ コンビニエンスストア
☐ その他 (_____)

2. あなたは「水と緑の森づくり税」について知っていましたか？

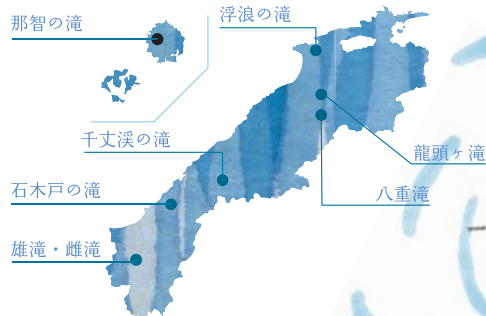
- ☐ 知っていた ☐ 知らなかった

しまねの森の

水辺で

過ごす

涼時間



隠岐の島町

那智の滝

隠岐の島町南方

高尾山の山腹から湧き出した清水が、重栖川にそそぐ谷あいにある滝です。集落の背後150mに位置し、雑木林に覆われた岩場となっています。



出雲市

浮浪の滝

出雲市別所町



島根県森林インストラクター
栗田弥加さんレポート



小川のせせらぎや鳥のさえずりに励まされ、苔むした山道を一步一步踏み締めて歩きます。道中はトンボやカエル、川魚などの小さな友達と出会い、特にスギの大木並木は心に残ります。滝の後ろにはお堂がありとても神秘的です。当日はあいにく滝の水量が少なく残念でしたが、お寺から少し下れば十六島湾です。滝を見て、その足で磯遊びができるなんて、自然が豊かな島根ならではの特権ですね。

浜田市

石木戸の滝

浜田市三隅町矢原



二層からなる滝で上層で7.2m、下層でさらに7.5m落下しています。滝の周辺には樹齢660年で天然記念物となっている枝張りの雄大な大平桜があります。

邑南町
江津市

千丈溪の滝

邑南町日和・江津市桜江町



江の川水系の八戸川の支流日和川にあり、高さ40mの白藤の滝など約5kmにわたって深淵と瀑布の続く峡谷です。

周辺の植物情報

いくつかある滝のなかに「紅葉滝」と名のつくものがあります。紅葉といえばカエデを連想される方も多いでしょう。「かえるの手」に似ていることからカエデといいますが、その中でも「かえるの手」にそっくりなのがイタヤカエデ。メーブルシロップを採取できる事でも有名ですが、その名の由来はイタヤ=板屋(屋根)とのこと。夏の熱い日差しを防いでくれる「かえるの手の屋根」(笑)。是非とも夏のカエデも堪能したいところです。

雲南市

八重滝

雲南市掛合町入間



大万木山に発する斐伊川水系の民谷川に沿った溪谷に2段構えに約40m落下する八汐滝など8つの滝が続いています。

周辺の植物情報

遊歩道が整備され、自然散策には最適。これからの時期は、川沿いにオニグルミが大きな実をつけ(実は食べられる)、ナツツバキが花を咲かせます。そのほか、樹皮をこすると湿布の様な(サロメチール)スーッとした香りがするミズメヤ、樹皮や枝などを煎じて目薬に使っていたメグスリノキなど。バラエティ豊かで樹木に詳しくなくても十分楽しめます。

津和野町

雄滝・雌滝

津和野町滝元



雌滝は高さ25~30m、雄滝は2段で高さが20mあり共に雄大な滝です。

周辺の植物情報

島根県東部では見かけないホソバタブやアブラチャンが自生しています。アブラチャンとはかわいらしい名前ですが、その名の通り実や枝から油をとって灯油として利用していました。また、樹皮がまだら模様のカゴノキ(鹿の子)やウワバミソウの群生

など豊かな自然が味わえます。

雲南市

龍頭ヶ滝

雲南市掛合町松笠



斐伊川水系の滝谷川の上流にある約40mにわたって落下する滝で、雄滝(裏見の滝ともいう)、雌滝の2つがあります。

周辺の植物情報

雄滝に行く途中には樹齢400年を超えといわれる立派な杉並木が続きます。日本人の生活に密接に関わっているスギは日本固有種で、古くから植林され、長寿でも有名です。クロマツ(県の木)の寿命は400年程度といわれますが、屋久島には3,000年を超えるスギが残っています。

しまねにはたくさんの滝スポットがあります。瀑布を対象として、23ヶ所が「ふるさとの滝」として選定されています。

「島根県 ふるさとの滝」で検索!

島根県 ふるさとの滝



平成23年度「水と緑の森づくり税」の事業実績

平成23年度 事業実績

県民の皆様から1人500円／年ずつで負担いただいた「水と緑の森づくり税」は主に下記の3事業に活用しました。

1.森づくり推進事業	18,082,349円
2.みーもの森づくり事業	31,907,553円
3.再生の森事業	145,262,858円

平成23年度事業費決算額 195,252,760円
 (うち、水と緑の森づくり税：195,212,760円
 ふるさと島根寄付金： 40,000円)

平成23年度 事業内容の詳細

1 森づくり推進事業

「水と緑の森づくり事業」を県民の皆様にお知らせするため、様々な方法でPRをしています。

季刊誌「みーも通信」年4回発行・水と緑の森づくり会議の開催・1000人アンケート・島根県森林インストラクター養成講座の実施・みーもスクール(学校での森林教育)の実施・ふるさと森講座の実施。



みーもスクール(大田市)

2 みーもの森づくり事業

県民の皆さんや市町村の自主的な森づくり活動を推進するため、メニューに沿って県民自らが企画・立案した取り組みを支援。採択は、県民7名からなる「水と緑の森づくり会議」の意見を聞き県が決定。

※みーもの森づくり事業実績(新規32件、継続9件、4,913人の県民が参加)・年間の森づくり活動参加者11,859人(含む4,913人)



みーもの森づくり事業(江津市)

3 再生の森事業

荒廃した森林を守るため不要な木を伐採する「再生の森事業」により、23年度は756haの森を手入れする事が出来ました。



再生の森事業

o t h e r 森 T O P I そ の 他 の 「 し ま ね の 森 ト ピ ッ ク ス 」

平成24年度 第1回 水と緑の森づくり会議を行いました

5月29日(火)島根県職員会館にて、平成24年度「第1回水と緑の森づくり会議」を行いました。会議の冒頭では、公募で選ばれた委員のほか、ボランティア・教員・森林経営の各専門家を含む7名の委員の任命式を行いました。一年間、委員の皆さんのご意見を聞きながら、安全で安心な生活に欠かせない「水を育む緑豊かな森」を次世代に引き継いでいくため、県民の皆さんのアイデアや意見をとられ「水と緑の森づくり」を行っています。



会議にはみーもくんも参加しました



「みーもスクール」を開催しました

5月24日(水)大田市の五十猛小学校の生徒18名と市内の仙ノ山にて「みーもスクール」を開催しました。このスクールは、子供達に「森・川」などの島根県の豊かな自然に触れ、その素晴らしさを肌で体験してもらおうという取り組みです。当日は世界遺産「石見銀山」の敷地内で、竹の子採りや、観光客に貸し出す竹の杖づくりなどを体験しました。本年度は、県内6地域の小中学校にご協力頂き、地域のNPO等と共同で様々な体験授業を行います。



竹の杖づくりに悪戦苦闘の子ども達



しまねの森のサポーター



緑と水の連絡会議

事務局長

和田譲二さん

世界遺産 石見銀山の森を守る

石見銀山の竹林の景観整備、バイオマスの地域循環、まちづくり推進など、様々な事業おこなうNPO法人緑と水の連絡会議。事務局長を務める和田さんが新たな事業として進めているのが、竹林整備で生じた竹を加工した竹の杖プロジェクト。銀山で推進している「歩く観光」で、お客さんに利用してもらおうと、同NPOと地元企業がコラボし、現在では竹の杖のデザインコンペを全国から募集している。※詳細はHP参照

また、3年目を迎えるみーもスクールで講師を務める和田さん。「要望もあって同じ小学校でつづけていることもあり、年々成長する子ども達の姿や、森に入ったときの反応が変わる様子などが実感できて面白い。」とのこと。学習発表会ではこちらの伝えなかったメッセージを正確に理解してくれたことに感激したという和田さんに、子ども達にメッセージをとお願いと「故郷の魅力は大人になって初めてわかるものかもしれないが、まずは子どものときにいろんな場所に行っていきたい体験を積み重ねて、季節ごとのお気に入りの空間を見つけておくことが大切と思う。」と語ってくださいました。



緑と水の連絡会議

<http://www.iwami.or.jp/ohgreen/> 和田さんのブログはHPよりご確認ください！



Information

みーもサマースクール開催

今年の7月、8月の夏休み期間、島根県に暮らす小学生を対象に「みーもサマースクール」を開催します。開催予定地は飯南町ふるさと森や松江市宍道町のふるさと森林公園など。島根県森林インストラクターの指導のもと、ネイチャーゲームやツリークライミングなど、豊かな自然を体で感じられるイベントを企画しています。詳しくは秋号にてご報告します！



- 里山に興味関心があって、毎号楽しみに手にしています。小さな情報でもなるほどと感心しつつ読了です。(出雲市・Kさん)
- この「みーも通信」で初めて「水と緑の森づくり税」を知りました。清流日本一の高津川を守るためにも、私たち一人一人の意識が大切だと思いました。(益田市・Sさん)
- 木におい、土におい、肌触り、田舎にいるからこそ今の子供たちに知ってほしい。知らずに大人になってほしくないと思います。子供たちが、自然とふれあえるイベントが、たくさんあるといいな。(益田市・Mさん)
- お母さんがもらってきてくれるのでときどき読みます。おもしろいです。私も森林の標語で賞をもらったことがあります。(出雲市・Yさん)

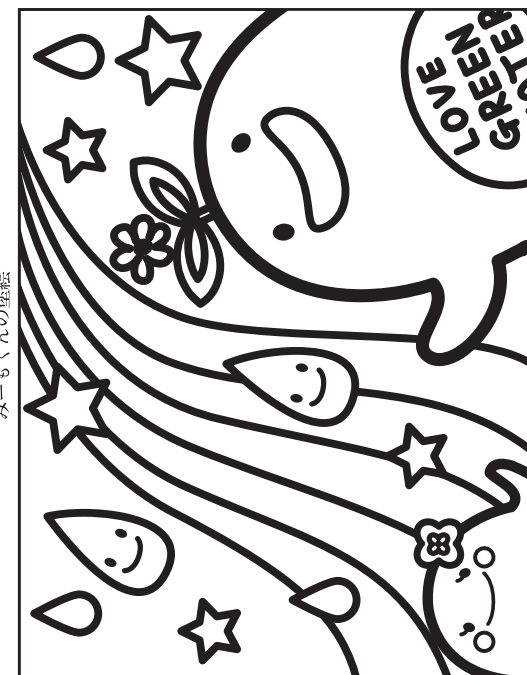
3. 情報誌「みーも通信」の記事の量（情報量）についてどう思いますか。

☐ 少ない ☐ ちょうど良い ☐ 多い

4. 特集で取り上げられてほしいテーマがありますか。

5. 「水と緑の森づくり税・みーも通信」についてご意見をお聞かせ下さい。

みーもくんの塗絵



ご応募頂いた塗り絵はホームページに掲載させていただきます。